絆通信

Vol.02

Kizuna Tsushin

大原やすお

福岡市議会議員《早良区》

ごあいさつ

皆様には、清々しく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災による甚大な被害に加え、放射能汚染による不安が日本全土を覆っています。私も昨年暮れに現地を視察、一日も早い復興と放射能問題の解決を願い、少しでも力になれるよう頑張っていきたいと思っています。

23年度福岡市民意識調査によりますと「福岡に住み続けたいと思っている人」が92%にのぼることが明らかになりました。その理由として①食べ物が新鮮で豊富、②買い物に便利、③自然が豊か…のほか「自然災害の少なさ」も多くありました。しかし、おいしくて新鮮な農産物や海産物の生産地では、高齢化や後継者不足で、これからの供給に不安があります。都心部の交通の利便性は図られていますが、郊外ではバス路線の廃止等による交通空白地域が生じています。

また、地域コミュニティが薄らいでいくなか、大災害時の防災や、防犯体制も万全とはとてもいえない状況です。

アジアの玄関口として重要性を増す福岡の将来と「もっと住みやすい福岡市」にするために知恵を絞り努力したいと考えています。

議席を与えていただいた皆様方のご期待に酬いるためにも精一杯頑張っていく決意でございます。尚一層のご支援とご指導をお願い申し上げます。

大原やすお

人と環境と都市が調和のとれたまち

地域の方々と一緒に取り組んでいます。
大原やすお
絆ネットワーク
市政報告

福岡市が目指している「人と環境と都市が調和のとれたまち」を実現していくために具体的には現在次のような事業が進められています。

1 福岡市博物館リニューアル工事

本年度は空調機器の更新工事に併せて

- 「アジアの遊び」をテーマに体験学習室の移設拡充
- 市民交流室の新設
- 授乳室・救護室の新設
- 飲食可能スペースの新設

等の付帯施設工事も進んでいます。

これにより利用者増だけでなく、外国人を含めた観光客にも来館して頂くことも目的としています。

2 地下鉄七隈線延伸

沿線住民からの要望が強い天神南駅～博多駅ルートの早期実現に向け、交通対策特別委員会では国に対し事業化への予算要望をすることになりました。開業まで十年の月日がかかる予定ですが、一年でも早く開業できるように努力をします。

早良区の将来像を提言
大原議員ら区の市議団

早良区の将来像「ひと・みず・ひかりが光り輝くふれあいと交流のあるまち」の実現に向けて早良区市議会議員団が、これを「要望書」として、このほど市執行部へ提出しました。同要望書は全十四項目で、主な内容は次の通りです。

要望書内容

・早良区南部地域の振興策について

区南部の豊かな自然を生かしつつ、地域の人口減少を解消する方策等、市街化調整区域内のまちづくりの在り方を含め、活力ある地域振興策を検討すること。

・地域交流センターの建設

設置場所の調査・確定を早急に進め、地域交流拠点施設として整備に着手すること。

・運動公園の早期整備及び身近な公園の整備

身近な憩いとスポーツレクリエーションの場として、また災害時避難場所となる運動公園の早期整備を図ること。

・副都心西新・藤崎地区の課題への取り組み

海浜都市シーサイドももちと連携を強化するため、交通の利便性向上などの方策を検討すること。また、西新庁舎跡地の有効利用、商店街の活性化・連携の強化等早急な対策に取り組むこと。

市議団では進行を見守りながら実現に向け推進してまいります。